

# 愛・地球博記念公園設計技術協力業務（その2）

## 審査講評

2020年8月31日

愛・地球博記念公園設計技術協力業務（その2）に関する

提案書等評価委員会

## 1 委員会の目的、所掌、審査方法、構成について

### (1) 目的

愛・地球博記念公園設計技術協力業務（その2）に関する提案書等評価委員会（以下「委員会」という。）は、公共工事の品質確保の促進に関する法律（平成17年法律第18号）第18条に規定する「技術提案の審査及び価格等の交渉による方式（うち技術協力・施工タイプ（E C I）」により事業者を募集するに当たり、公正性、透明性及び客観性を確保して事業者から提出された提案書を評価し、また、事業費の妥当性について評価するために設置されました。

### (2) 所掌

委員会は、次の事項を所掌し、第1回及び第2回委員会において、アを実施しました。

ア 提案書の評価方法等を定めるとともに、提出された提案書の評価。

イ 優先交渉権者から提出された事業費の妥当性についての評価。

### (3) 審査方法

審査は、第一次審査として参加資格の有無を判断する「資格審査」（県が実施）、第二次審査として提案内容を評価する「提案審査」の2段階にて実施しました。

### (4) 構成

委員会は、学識経験者・有識者4名、基本設計受託者2名及び県職員1名により構成されました。なお、委員の氏名は、工事請負契約後に公表します。

## 2 優先交渉権者選定までの経緯

2020年3月13日 委員会（第1回）

〃 3月25日 公募プロポーザル方式による募集開始

〃 4月2日 手続きに関する説明会（中止）

〃 4月7日 手続きに関する質問提出期限

〃 4月10日 手続きに関する質問回答の公表

〃 5月27日 参加書類の提出期限（1者提出）

〃 6月9日 現地見学会の開催

〃 6月19日 質問書の提出期限

〃 6月24日 質問書の回答の公表

〃 6月30日 提案書の提出期限（1者提出）

〃 7月17日 委員会（第2回）

## 3 審査の経過

### (1) 資格審査

参加書類の提出期限までに1者から参加書類の提出があり、県は、提出された参加書類をもとに募集要項に記載する参加要件及び資格要件の具備を確認しました。その結果、応募者が参加資格を有することが確認されました。

### (2) 提案審査

ア 提案書の提出

提案書の提出期限までに1者の提案書を受理しました。

イ ヒアリング

第2回委員会において、1者の提案内容についてヒアリングを実施しました。ヒアリン

グは、提案内容に関するプレゼンテーションを15分、質疑応答を約15分により実施しました。

ウ 提案内容の評価

ヒアリングを踏まえた上で、各委員の評価項目毎の評価点を平均し、委員会としての評価点を決定しました。

表1 評価項目

評価項目	様式	評価基準
技術提案・交渉方式等における実績等 (配点 5 点)	様式 14	本業務を技術提案・交渉方式で実施するための実施体制
	様式 15	配置技術者の国・他自治体における技術提案・交渉方式の受託実績 ECI に関する知識・経験が豊富で、関連する資格を有する人員の配置
	様式 16	会社としての国・他自治体における技術提案・交渉方式（技術協力・施工タイプ）の元請けとしての受託実績
	様式 17	過去 10 年間に於ける会社としての、C 工事との調整を有した工事の元請けとしての実績（平成 22 年 4 月 1 日以降に契約し、完成したものに限る。）
社会的取組 (配点 5 点)	様式 18	環境に配慮した事業活動
		障害者等への就業支援
		男女共同参画社会の形成
		仕事と生活の調和
業務理解度等 (配点 35 点)	様式 19 (10 点)	業務の理解度 ・技術提案・交渉方式（技術協力・施工タイプ）に対する理解度 ・現地条件及び与条件に対する理解度
	様式 20 (15 点)	実施設計期間中におけるコストマネジメントに対する考え方とその方法（ターゲットコストを超過した場合の対応方法（過去の実績を踏まえて、具体的に記載してください。））
	様式 21 (10 点)	工事費積算の妥当性、透明性の確保に関する考え方（県に対して、工事費積算の内訳をどのように開示するか。）
具体的な業務内容等 (配点 38 点)	様式 22 (10 点)	スタジオジブリの持つアニメーション作品の世界観を現実世界により忠実に表現するという視点から、次の点について記載してください。 ・様式 14 で記載した会社又は配置技術者の実績（建築（木造・非木造）、造園）（受注した規模、手法（設計施工、施工のみ）等）（協力会社についても記載） ・技術協力の方法についての提案（仕様を特定するために必要となる資料等の提供方法や打合せ参加頻度等）
	様式 23 (13 点)	次の視点から、2 エリアの施設に関して提案してください。 ・国内外の伝統的な工法（金物を使わない在来軸組工法やハーフティンバー工法、組積造（野積み含む）、各種屋根葺き、左官）で建築物・工作物を建築した経験や実績を踏まえて、実施設計に技術協力を行うノウハウ、方法 ・ハウルの城を忠実に表現するため、作品表現と乖離が発生した場合の解決方法 ・長期耐久性確保、メンテナンス性確保 ・その他、技術協力中に有効と思われる事項

	様式 24 (10点)	次の視点から、2エリアの造園について提案してください。 ・既存の動植物と共存していくためのノウハウ、方法 ・「未来の森創造技術部会」で検討(※)した植栽基盤整備計画を施工する際の土工事中の排水計画等、環境配慮に関する事。 ※検討資料は貸出の基本設計相当資料を含む。 ・その他、技術協力中に有効と思われる事項
	様式 25 (5点)	第1期開業エリアの工事、北口エントランス工事等、複数の工事が並行することになる点を踏まえ、技術協力期間中に各工事間の調整、動線計画や工事ヤード等の調整方法を具体的に記載してください。
地域経済等への配慮 (配点7点)	様式 26	県産資材の活用など地域経済への貢献内容について具体的に記載してください。
VE提案 (配点10点)	様式 27	技術協力期間中における、VE提案の視点・体制・進め方について記載してください。また、(公社)日本バリュー・エンジニアリング協会が認定するVEに関する資格(VEL、VES、CVS)がある場合は記載してください。
(総合得点100点)	—	—

#### 4 評価結果

##### (1) 提案書提出者

・受付番号【12】番：鹿島建設株式会社 中部支店

##### (2) 評価結果

委員会が提案書の評価を行い、結果は表2のとおりとなりました。

表2 評価結果

評価項目	配点	受付番号
		【12】
技術提案・交渉方式等における実績等	5点	5.00点
社会的取組	5点	4.00点
業務理解度等	35点	29.75点
具体的な業務内容等	38点	34.15点
地域経済等への配慮	7点	6.13点
VE提案	10点	8.25点
総合得点	100点	87.28点

### (3) 優先交渉権者の選定

委員会より評価結果の報告を受け、県は【12】を優先交渉権者に選定しました。

## 5 審査講評

講評は、評価項目の様式毎に行います。

### 業務理解度等

#### ○様式 19

県が最適な仕様を設定出来ない工事である事を理解し、仕様を特定していくプロセスが提案されていました。また、現地を良く調べられている事が伝わってくる内容でした。

特に、仕様を決めていくための体制として、E C I 経験者、建築、造園等の様々な専門職がチームを組み取り組む体制、技術協力の進め方等のスキームを評価しました。

また、現状の愛・地球博記念公園の使われ方や、おおまかな公園内の動植物の生息状況を調査され、現状の理解度が高い点についても評価しました。

#### ○様式 20

コスト変動要因に対する対応方針、コスト効果の高い初期段階に注力して業務を進めること、コストインパクトが大きい内容から検討を進めること等が提案されていました。また、今回の業務におけるコストマネジメントの困難さを十分に理解していることが伝わってくる内容でした。

特に、コストマネジメントに関するスケジュール、モックアップの作成や3Dモデルを活用し初期段階での検討を深める提案を評価しました。

#### ○様式 21

一般工事と特殊工事を分けて提案されており、ジブリパーク整備に対する理解の深さが伝わってくる内容でした。

特に、一般工事においては、数量拾いの正確さ、単価の透明性が確保される提案を評価しました。また、スタジオジブリの世界観を表現するための特殊工事については、内訳開示方法について分かり易い提案がされており、工事費積算の妥当性、透明性を確保できる提案として評価しました。

### 具体的な業務内容

#### ○様式 22

E C I 方式による実績、和風建築、洋風建築、造園の各分野における実績が多数示されており、豊富な実績、施工ノウハウを有していることを感じました。

特に、初期段階の短期間に建築物の構造種別毎、造園とグループ分けを行い、技術協力を行う体制や実施設計に対する支援方法を高く評価しました。

#### ○様式 23

国内外の伝統的な工法で建築物を建築した経験や実績が示されており蓄積された技術力、ノウハウを感じました。また、ハウルの城に関しての技術協力体制、方法に高い意気込みを感じました。

特に、ハウルの城について縮小モックアップを作成し世界観を共有する提案を高く評価しました。

#### ○様式 24

工事中の既存の動植物との共存、池への濁水配慮など、既存の自然の保全を適切に進めるための方法、取組みが提案されました。

特に、公園内に生息する希少種への対策や周辺の環境に配慮した排水計画が提案されている点を評価しました。

#### ○様式 25

公園内で同時期に複数の工事が行われることを十分に理解された上で、調整方法、調整手段、調整に使うシステム等が提案されている点を評価しました。

#### **地域経済等への配慮【様式 26】**

県産木材の活用や県内業者の活用を予定されており、地域経済に配慮した提案でした。

しかしながら、愛知県は多種多様なものづくりが盛んな地域であることから、地域経済へのアプローチという点で少し物足りなさを感じました。

評価した点としまして、各提案に目標金額を具体的に記載されており、地元経済等へ配慮されている点を評価しました。

#### **VE 提案【様式 27】**

VE に関する資格者が多数在籍されており、会社として VE に取り組む姿勢が高いと感じました。また、VE の進め方や VE 提案の視点が提案されました。

特に、コスト効果の高い初期段階において VE に重点的に取り組む点、VE のまとめ方を評価しました。

## **6 総評**

委員会においては、提出いただいた提案書、プレゼンテーション、ヒアリングを踏まえ評価基準に基づいて厳正かつ公正に評価を行いました。

その結果として、【12】の提案は、スタジオジブリ作品の世界観を具現化するという強い意気込みが感じられたこと、また、その質感等の実現のための技術協力体制が効果的な内容であったことから、100 点満点中 87.28 点と高評価となりました。

なお、今回優先交渉権者に選定された【12】の提案に対しては、次の諸点について更なる配慮、検討をして頂きたいとの意見がありましたので、これらの点を配慮し、県、デザイン監修者、実施設計者と一体となって世界中のジブリ作品のファンを魅了できるよう本事業の更なる向上に努めるよう要望します。

○コストマネジメントについて、設計技術協力の業務期間が7ヵ月半と短いことから、仕様の確定はもちろんのこと、早い段階から積極的に VE を提案し、コスト意識を高く持つこと。

○要求される品質等についての理解度は高く、提案内容も優れています。技術提案書の提案内容を実施するのはもちろんのこと、更なる品質向上に向け、技術協力期間中においても努力すること。

○工事費の妥当性、透明性については、共通仮設費、現場管理費について透明性の確保の方法

を検討すること。また、特殊仕上げ工事についても、専門工事業者3者以上から見積もりを取るなど可能な範囲で妥当性、透明性の確保に努めること。

○今回のECI対象エリアは、建築工事の他、造園工事が大きなウェイトを占めるため、両方の視点から総合的なコストマネジメント及びVEの提案を行うこと。

○ジブリの世界観を大切にした上で、御社に蓄積された施工ノウハウ等から、事業費を削減するために必要なVE提案を行うこと。VE提案は単なるコストダウンにならないように検討し、機能や質の向上を伴う内容とすること。

○地域経済等への配慮について、県産木材以外にも、地場産業、地場製品の活用を検討すること。

最後に、提出をいただきました提案書は、本事業及び本業務の趣旨を十分に理解した内容であり、短い期間のうちに現地を調査され目的を明確にとらえた事業提案をまとめられたことについて、その積極的な姿勢と熱意を高く評価しております。重ねてここに深く感謝を申し上げます。

令和2年8月31日

愛・地球博記念公園設計技術協力業務（その2）に関する提案書等評価委員会 委員長